

令和5年度 職員学校評価アンケート 集約結果

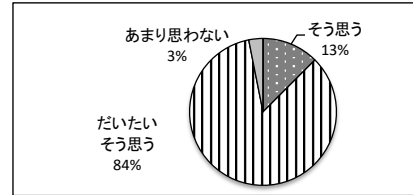
R05.12実施

△: 昨年度よりアップ ▼: 昨年度よりダウン

回答数 64/64 100 %

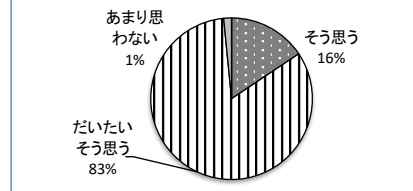
- 1 本校の教育目標の達成に向けて、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導が行われている。(人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
8	54	2	0
97% (94) △		3% (6)	



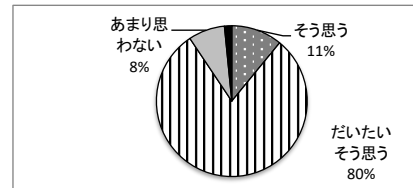
- 2 「明るく元気な子ども」「自分のことに自分で取り組む子ども」「まわりの人と仲良くする子ども」を育成する教育となっている。(人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
10	53	1	0
99% (93) △		1% (7)	



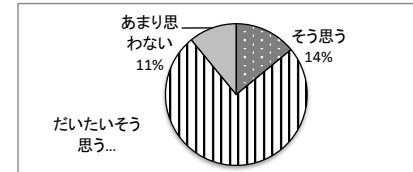
- 3 「一人ひとりが確かに育つ」ための手立てを講じて授業が行われ、子どもの生きる力が高まっている。(人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
7	51	5	1
91% (86) △		9% (14)	



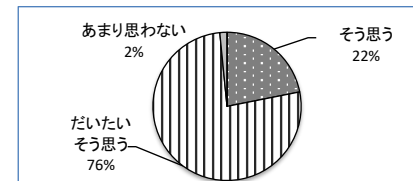
- 4 学校生活全般の指導・支援を通して、基本的な生活習慣及び人とのかわりなどの社会性が高まっている。(人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
9	48	7	0
89% (88) △		11% (12)	



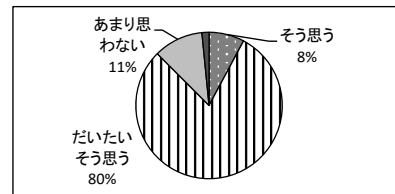
- 5 子どもの健康の維持と体力の向上をめざす指導が行われている。(人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
14	49	1	0
98% (93) △		2% (7)	



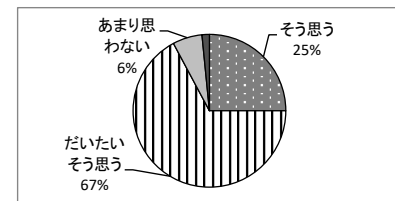
- 6 安全安心な学校となるように、学校事故や交通事故の未然防止のための情報共有及び災害への対応について、手立てがとられている。(人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
5	51	7	1
88% (90) ▼		12% (10)	



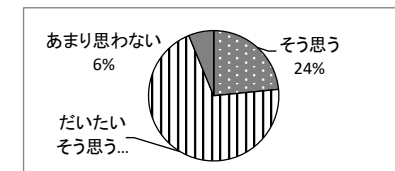
- 7 さまざまな感染症感染拡大防止対策は適切に行われ、障がいのある子どもが学ぶために配慮した、快適に学校生活を送ることができる教育環境となっている。(人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
16	43	4	1
92% (94) ▼		8% (6)	



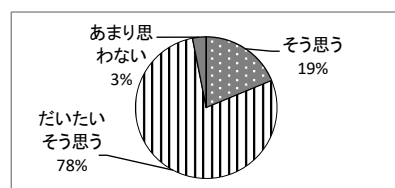
- 8 校内におけるさまざまな研修が、専門性の向上につながっている。(人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
15	45	4	0
94% (93) △		6% (7)	



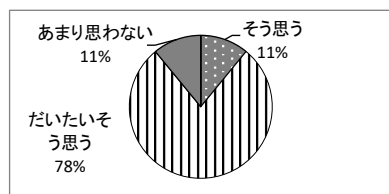
- 9 学校研究の取組が、日常的な授業改善につながっている。

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
12	50	2	0
97% (91) △		3% (9)	



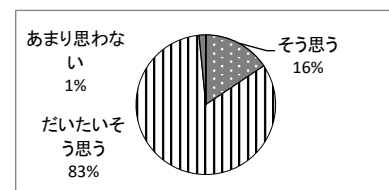
10 幼稚部・小学部の早期から、自立と社会参加に向けた進路指導とキャリア教育の視点をもった教育が行われている。(人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
7	50	7	0
89% (90) ▼		11% (10)	



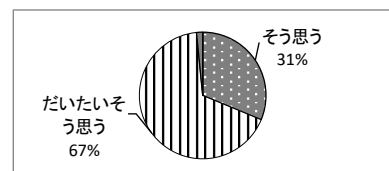
11 学校公開やHP、広報等の情報発信を通して、本校教育の理解啓発が図られている。(人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
10	53	1	0
99% (93) △		1% (7)	



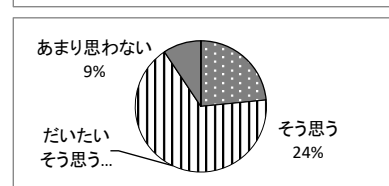
12 地域の特別支援教育のセンターにふさわしい教育相談及び地域支援の取組となっている。(人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
20	43	1	0
98% (100) ▼		2% (0)	



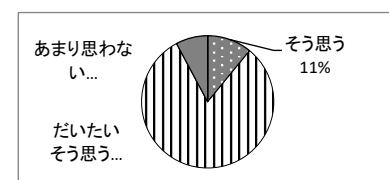
13 感染防止対策を行いながら、地域や居住地校等との交流及び共同学習が必要に応じ実施されている。(人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
15	43	6	0
91% (93) ▼		9% (7)	



14 現在の学校運営組織が、学校の教育目標達成に向けて取り組むに際して、適切なものとなっている。(人数)

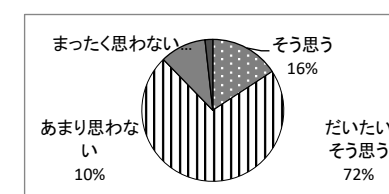
そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
7	52	5	0
92% (95) ▼		8% (5)	



・聴覚部から構成員の出ていない総務部、進路部については、丁寧な連携をしていくよう、各分掌部も、聴覚部担当者も心掛けてほしい。

15 同僚性を大切にし、「つながり」の感じられる職場環境となっている。(人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
9	41	6	1
89% (88) △		11% (12)	



「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせたA+B評価について、15項目中11項目が90%台であった。

重点1 安全安心な学校に係る項目

- ・感染状況や気温・気候に応じた変更等を行いながら教育活動を実施できた。コロナ禍前に取り組んでいた活動を含め、各活動時期や内容等を整理、精選、創造し次年度の教育活動を計画していく。
- ・学部間での協力や活動の工夫を行い、年間を通じて学校で安全に過ごせるように対応した。今年度の事例を踏まえ、幼児児童生徒の実態共有と必要な支援体制について検討し、継続して連携を図っていく。

重点2 専門性の維持・向上に係る項目

- ・個別の指導計画等を活用し、一人一人に必要な目標や指導の手立てについて定期的に評価し、目標の修正を行ってきた。保護者と丁寧に支援の在り方を共有しながら次のステップにつなげることを意識していく。
- ・次年度の職員研修計画や会議等の精選による時間の捻出を進め、専門性向上を図っていく。

重点3 早期からの自立と社会参加に向けた進路指導に係る項目

- ・生徒指導、進路指導は学部や年齢によりニーズが異なる。どのような時期に、どのような研修や情報提供などを行えばいいかを職員間で情報共有、連携し行えるようにしていく。

重点4 保護者・関係機関との連携に係る項目

- ・学校からの積極的な情報発信や他校とのさらなる交流を希望する意見があり、意図的、計画的に進められるよう検討していく。
- ・地域との交流では工夫した実施例が増えている。子どもたちにつけたい力を明確にし、地域資源や人材の活用を進めていく。